

令和6年度あずましプラン評価 推進委員意見

■基本目標1

②中核となる町内会や各団体との事業の連携

- ・人口減少、高齢化の進行によって行政区、町内会役員のなり手が不足してきているのは実感する。さらに進行していくと機能不全に陥り、地域コミュニティの稀薄化に拍車がかかると思われる。あずましプランの中でも問題共有し議論を深めていただければと思う

③町民フォーラム

- ・町民フォーラムの若者の参加について、人口減少と町外への移住してしまうケースが増えている状況で、若者にとってどのような町が魅力なのか、高齢者への課題に目を向けられがちだが、若者の声も聞いてほしいという気持ちがある
- ・回数を重ねる毎に意見等が活発に出るようになってきていると思う。今回はグループでの話し合いがあり、とても良かったと思う

⑤認知症サポーターの養成と活躍の場づくり

- ・認知症サポーターの養成はとても大切だと思う。学習会的なことも多くできればよいと思う
- ・町内全体で養成に取り組むべき

⑥小・中・高校生における福祉総合学習

- ・「⑦・⑧」合わせて、子どもの頃からの福祉に携わる機会について、大切な事と考える。大人になるまでの間、そしてなってからもボランティアや助けあうきっかけになると考える
- ・小学生しか実施していないので、中高も参加してもよいのでは

⑧アクティブボランティア

- ・ボランティアの担い手が減少していたと昨年報告があったら、ちょびボラを通してボランティアの人数が増えた事によって効果が実感できている
- ・ボランティアの増員があったのは、良かったと思う

⑨世代間交流会

- ・「⑩・⑪」合わせて、人口減少している中、参加者が増となり良い傾向であるが、毎回同じ顔ぶれである。各団体に入っていない住民にも参加PRを実施検討

⑩地域での顔の見える付き合いづくり

- ・各サロンの人数及び参加人数が減っている。老人クラブも同じで、各地区の統合も必要では
- ・地区及び町内で地域全体での活動にしてみても
- ・特定の目標に対する意見でなく全体的なことだが、自分が参加していない事業について、簡単な実施内容等を見るだけで評価をつけるのはおこがましいというか、申し訳な

い気持ちになってしまう。せめて説明を聞きながらつけるようにはならないか？また、社協さん側の自己評価も聞いてみたい

■基本目標 2

①心配ごと相談・福祉総合相談

- ・相談の内容は社協？役場？というのがある。全部社協がすべきなのか？
- ・相談数は少ないが、相談したい人は多いはず。各団体機関での連携は必要
- ・「②・④・⑤・⑬」合わせて、地域の方が集まり、情報共有や相談できる仕組みを普段から整えようとしているのを感じている。何かあったら、何もなくても、その関係を作るきっかけになっていると考える
- ・相談にあたり、専門の方を入れてみては良いのでは？
- ・心配ごと相談が 0 件で、相談したい人がいないのか、周知がされていないのか、しばらく状況なのか、今後に期待する

②サロンでの普段着相談

- ・気軽に相談できるのは良い。会話の中で相談事が出てくるのは良いと思う
- ・「⑥」合わせて、昨年より参加者が多くなり良い傾向である

③地域の防災対策の把握

- ・「⑤・⑬・⑭」合わせて、1 の評価になっているので、出来るようになればと思う。これからだとは思うのだが…。

⑤福祉施設との連携強化

- ・各福祉施設とどのように連携して B C P 計画を策定するのか知りたい

⑥あずまし食堂の運営

- ・子どもが参加できる日を年に一回でも良いので設けてはどうだろうか？
- ・「⑧」合わせて、あずまし食堂の参加者 439 名は素晴らしいと感じる。食べる事は嬉しい事とつながり、笑顔は自分も周りの方も幸せにできる力となっていると感じる。
- ・利用したいが平日は難しい
- ・あずまし食堂のメニューの写真を見て、彩りも良く美味しそうだった

⑧フードバンクの設置

- ・フードバンクは必要なのか？

⑩土曜日サロン（障がい者）

- ・利用者の方も減っていて、せっかくの良い取り組みなのにもったいないので、障がいの枠だけではなく、子供達も参加できるとよいのではないかと？きららの子供たちも参加できないのか？

⑪まんまるカフェ

- ・次年度に向けて内容の検討→できるのであれば、過去に参加した方々へのアンケートなど募り、どのようなニーズがあるのか情報収集した上で内容を検討すると、より目的に沿ったカフェになると感じた

⑫男の料理教室

- ・なかなか出て来る事の無い男性を引っ張り出すのは大変だと思うが、これからも続けてほしい

⑬オープンサロン

- ・拠点はみつかりましたか？候補はありますか？

⑯生活支援コーディネーターの運用（町受託事業）

- ・コーディネーター経費は年間いくらか。全て町が負担なのか？

⑰検討委員会の運営とモデル事業の実施

- ・もっと利用が増えるといい
- ・参加者の充足度？満足度？も知りたい

■基本目標 3

②福祉除雪サービス（町受託事業）

- ・雪の多い月形にとって除雪サービスはありがたいと思う
- ・「③」合わせて、昨年より減少しているが、何か原因が有るのか？

③配食サービス（町受託事業）

- ・行事弁当年4回ですが、月1だと厳しいのか。その月にあった季節を感じられる食べ物があれば、食事を楽しみに出来ると思う
- ・「④」合わせて、移動や食事を作ることが難しい方が多いと考える

④福祉有償運送

- ・運賃表を出してくれると利用しやすい
- ・たくさんの方が利用していると思った

⑥心配ごと相談・福祉総合相談窓口の周知

- ・相談数は少ないが、相談したい人は多いはず。各団体機関での連携は必要

⑧生活支援体制整備事業

- ・「⑨・⑩」合わせて、協議会・研修の活性化が必要

⑩生活支援サービスの整備、充実・生活支援サービス（有償含む）

- ・サービスの内容、利用方法を明確にした方が良いかと思う。
- ・買い物サービス1件だけなので、どんどん周知をかけていけるような取り組みが出来れば良いと思う。買い物に困っている人は多いと思う。
- ・買い物サービス1名の利用だが(有償で実施なのか)。少ないから検討ではなく、PRすべきであると思う

■基本目標4

①町民フォーラム

- ・町民フォーラムは、もっとたくさんの方が参加できると良いと思うが、若い方がどうやったら参加できるか（自分も関わっていなければ、参加しようと考えもしていなかったと思う）。難しいと思った。でも参加したらよい経験だった。

②福祉情報の提供

- ・情報の周知のため、更新頻度を多くする他、どのような工夫をしているのか？

⑨関係法人・団体との事業開発

- ・社会福祉法人の活動が目立たないと感じる。

⑪あずましプラン実施計画の作成、実施および見直しさらに改善

- ・あずまし会議当日に行けない方などに向けてオンラインで配信したり、出席したからこそ感じる何かがあると思う。